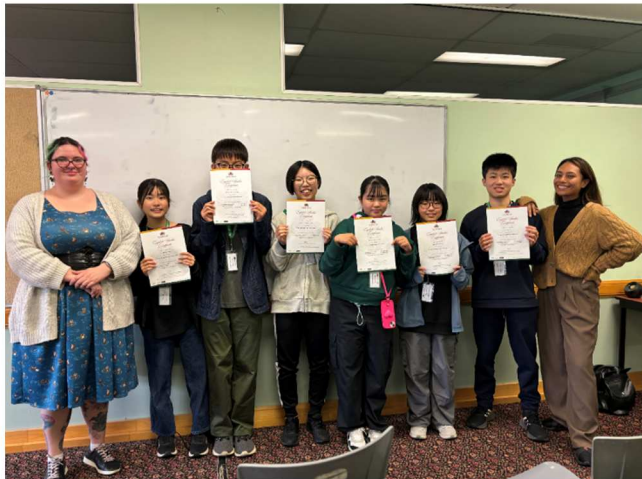


令和 6 年度

南幌町中学生国際留学プログラム事業

報告書



8/4-8/13 Brisbane, Australia

南幌町では、次代を担う中学生を海外に派遣し、外国での語学研修やホームステイ体験を通じ、国際性豊かな人材を育成することを目的に「南幌町中学生国際留学プログラム事業」をスタートしました。

海外派遣8回目となった本年度の派遣はオーストラリア、南幌中学校の生徒6名に決まりました。派遣期間は8月4日から13日までの10日間。派遣者は、オーストラリアの情報や、ホームステイの心得などの事前研修を全3回を受け、海外研修に備えました。

本書は、クイーンズランド州ブリスベンにおいて、現地のシャフストン・インターナショナル・カレッジでの語学研修、先住民であるアボリジニ文化のクラフト体験、実際に野生の動物と触れ合う体験、ホームステイによる生活など様々な体験をした生徒たちの報告書です。



目次

派遣生徒の報告書

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

1

【報告者】

黒田美織・山口衿世・浅田寅乃輔

前田七穂・畠山華吏・青山滉

地図

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

1 3

行程表

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

1 4

中学生国際プログラムに参加して

南幌中学校2年 黒田 美織



私が中学生国際プログラムに参加しようと思ったきっかけは、英語に興味を持ちはじめたのと日本以外の文化に現地に行ってみてみたいと思ったからです。一年生のときに受けて面接で落ちてしまったのもあり、

今回の面接に受かったときはとても嬉しかったです。

そしてオーストラリアに出発する日を期待と不安の半々の気持ちで迎えました。9時間くらいの長いフライトを終えた後、冬のオーストラリアに着きました。東京の成田との差もあってすごく寒く感じました。ブリスベン空港からはあたりまえだけど全部が英語でわくわくしました。空港を出た後、私たちがお世話になる語学学校に着きました。キャンパスツアーをしてもあった後にレベルテストを受けました。すごく難しかったです。

す。テストの後、現地の先生方と一緒にブーメランづくりをしました。少し難しかったけどとてもおもしろかったです。ブーメラン作りを楽しんだ後、ついにホストファミリーがお迎えに来てくれる時間がきました。みんなお迎えの時間がバラバラで待ち時間がすごく緊張しました。そしてホストファミリーが迎えに来てくれて車に乗っているとときいろんなことを話してとてもやさしい人だったので安心しました。家に着き、家の紹介をしてもらって夕食を食べた後長時間のフライトもあったのでつかれてすぐ寝てしまいました。

二日目は語学学校での三時間英語のレッスンを受けた後、お昼ご飯でホストファミリーに作ってもらったサンドイッチとりんご一個を外でみんなで食べ

て楽しかったしランチボックスにポテチもつけてくれていて、とてもおいしかったです。お昼ご飯を食べおえた後みんなで船で移動してブリスベン市内ツアーに行きました。建物もすごく大きいいろんな人がいて、歩いていてとてもおもしろかったです。自由行動のときもみんなでアイスを買ったときに店員さんの英語が聞きとれなくて友達にたすけてもらってしまっただけ、違うお店でおみやげを買ったときは一人で出来たので嬉しかったです。他にも日本では見たことがないアイビスというトキミみたいな大きい鳥がたくさん居ておもしろかったです。

そして三日目は英語レッスンを三時間受けた後みんなで現地の公園にいった遊びました。現地の公園はバスケットコートとかもあってわくわくしました。

四日目はいつもどおり英語レッスンを受けた後、現地の動物とふれあいました。ヘビを首にまいたり、クロコダイルの赤ちゃんもさわりました。ふくろうがかわいかったです。動物のふれあいが終わった後、現地の学校を見に行きました。同じ年なのにみんな背が大きくてびっくりしました。英語が分からなかったときも分かるようにゆっくり話してくれて、とてもやさしかったです。私は技術の授業を一時間だけ見学したのですがみんな自由でおもしろかったらしい。みんなが話しかけてくれたのでいるだけで楽しかったです。おいしいマフィンや現地の学校からのボールペンやふせんなどが入ったプレゼントまでくれたのでとてもうれしかったです。

五日目は英語のレッスンを受けた後、ついに語学学校の修了セレモニーを受けました。修了セレモニーでは先生方と写真をとり、南幌中のみんなで国家を歌いました。その後はお世話になった先生方とみんなで現地のおかしパーティーをしました。とくにアンザッククッキーがおいしくて7枚くらい食べてしまいました。お話もしてとても楽しかったです。この日の夜はホストファミリーが日本食屋さんにつれていってもらいました。私はカツカレーを頼みました。久しぶりの日本食でとてもおいしくて量が多かったのに余裕で完食しました。ホストファミリーともたくさん話ができたのでとても嬉しかったです。

そして六日目は南幌中のみんなとゴールドコーストに行きました。日差しがすごく強かったので、みんなでサングラスをかけたまま。最初にみんなとビーチに行きました。砂がすごくきれいでくつとくつ下をぬいで歩きました。海もすごくきれいでした。その後は自由行動でみんながマクドを食べた後小さいときから行きたかったビルドアップという自分だけのぬぐるみをつくれるおみせでみんながぬぐるみをつくりました。ゴールドコーストはおもしろいお店がたくさんで遊園地みたいでした。とても楽しかったです。

七日目はオーストラリアでの最後に一日ホストファミリーと一緒に過ごす日です。私はホストファミリーと家具がいっぱい売っているお店に行きました。海外のお店をみれて楽しかったです。その後はホストファミリーと2人で話しながらテレビをみてゆっくりしました。その日の夜ご飯はなんとうどんをつくらせてくれました。とてもおいしかったです。嬉しかったです。そして帰る日朝早いのにホストファミリーが学校まで送ってくれてそこでおわかれしました。

オーストラリアは行くまでは不安もありましたがホストファミリーの人たちも日本食を作ってくれたり、トラブルがおきてもすぐに助けてくれたしいろんな所にもつれていってくれてやさしかったのでとても安心して過ごせました。オーストラリアに行つて私は、日本と違う文化やネイティブでの英語を現地で学べたと思います。いろんな初めての事を体験できてとても楽しかったです。また海外に行きたいです。これから英語の勉強をがんばりたいと思います。とても貴重な経験をさせていただきました。今回このような機会をいただいてありがとうございました。

初めての留学

南幌中学校2年 山口 衿世

私は、八月四日初めて留学するオーストラリア・ブリスベンに向けて出発しました。

オーストラリア留学に行けると決まったとき、面接に受かって安心したのと、嬉しさがありました。旅立つ日が近づくにつれ、英語が通じるか、ホストファミリーが悪い人だったらどうしようという不安と緊張がありました。が、どんなこともポジティブに考えよう、楽しもうという気持ちで旅立ちました。

二日目、空港に到着してから語学学校に向かいました。午前中は、校内を案内してもらい、オリエンテーションとレベルテストをしました。校内は、とても広い庭やカフェテリアなどもあり、色々な国の留学生が多くいました。午後からは、ブーメランを作成しました。オーストラリア特有の生き物であるカンガルーや亀などの絵や模様を描いて作りました。ブーメランを作る意味を教えてもらいましたが

英語が理解できなかったのも、後から調べてみるとオーストラリアのシンボルで「またの挑戦しを」「安全に帰る」という意味があり歓迎してくれている気持ちも伝わってきました。そして、ホストファミリーと対面する時間になりました。待っている間はすごく緊張していて、時間が長く感じました。実際に会ってみると、インド人のホストマザーでした。てっきり、オーストラリア人だばかり思っていたので少し驚きました。

三日目、午前は、語学学校で、オーストラリアの地理について教えてもらったり、自己紹介、買い物の仕方などの授業をしました。午後からは、クイーンストモールに行きました。そこは、駅やショッピングモール、世界遺産に登録されている建物が多くあり、歴史のある街で、

たくさんの人達で賑わう場所を見学してきました。オブジェや芸術作品などもあり、おしゃれな街でした。

四日目、朝、ホストファミリーが寝坊したので、フェリーに乗って登校しました。朝からのハプニングでしたが、フェリー登校は、初めてで、少し寒かったけど、天気も良く、気分が良かったです。この日は、一日語学学校で勉強する日です。どこの洲にどんな動物が生息してい



るのか、二十種類くらいの動物を紹介してもらい、気に入った動物のポスターを作成する勉強でした。私は、青い舌が特徴のアオシダトカゲについて調べ、絵を書いて、ポスター作成をしました。

五日目、学校に小動物が来ました。クロコダイルの赤ちゃん、ブラウンスネーク、トカゲ、メンフクロウ、フクロモモンガが来ました。ヘビを首に巻いたり、トカゲやフクロモモンガを手の上にのせたりして、ふれあいました。午後からは現地の学校に行きました。一人ずつパートナーがついてくれて、校内を案内してくれました。その後、パートナーが選択科目にしている美術の授業を受け、ピカソを題材とした作品と一緒に作りました。学校帰り、ホストマザーにショッピングモールに連

れて行ってもらい、私が食べたと言っていたマクドナルドでチーズバーガーを買ってもらいました。味は日本と同じでした。が、美味しかったです。

六日目、この日は最後の登校日で、卒業パーティーを開いてくれました。卒業証書をもらい、お菓子とジュースを用意してくれました。私達は、先生への感謝の気持ちと日本を象徴する絵を書いたポスターをプレゼントしました。英語が難しく理解できなかったことが多かったけど、優しくゆっくり話してくれて楽しく六日間の授業を受けることができました。先生には感謝しています。

七日目、一番楽しみにしていたゴールドコーストに行きました。天気も良く、海もブルーで、砂も白くサラサラしていて日本の海とは全く違いました。

夜は、寅乃輔さんのホストファミリーの友達の家で、ソーセージパーティーをしました。そこには、台湾人の留学生もいました。緊張していたのと、英語で話すことができてなくて、コミュニケーションがとれなくて残念でした。外国のホームパーティーが体験できて良かったです。

八日目、この日は一日ホストファミリーと過ごす日です。寅乃輔さんのホストファミリーと一緒にコアラが見られる公園に連れて行ってもらいました。コアラは夜行性なので、木の上で寝ていましたが、中には起きているコアラもいて、動いている姿を見られました。コアラを見学するアクティビティがなかったのも、最後に見れて良かったです。

私の身のお世話をしてくれたり、わかりやすい英語で

コミュニケーションを取ってくれて、優しく接してくれたホストマザーには感謝しています。

私は、初めての留学で挑戦すると言ったことを学びました。また、英語が上手く話せなくても、単語やジェスチャーでコミュニケーションがとれるということも学びました。上手く話せなかったり、聞き取れなかったりしたことが悔いが残るので、今後英会話の勉強に力を入れます。ポジティブに考える、楽しむという気持ちを持ち続けることができて、充実した十日間になりました。

今回の留学プログラム事業に関わってくれた、役場、先生、名鉄観光、両親の方々にはとても感謝しています。貴重な経験をさせてもらい、ありがとうございました。

成長と学び

南幌中学校2年 浅田 寅乃輔



私は、オーストラリアのブリスベンへ十日間留学しました。温暖な気候と、美しいゴールドコーストが魅力的な都市として知られており、ずっと憧れの場

所でした。また、ブリスベンは学生都市としても有名で、世界各国から留学生が集まっているという点も魅力的でした。語学力を向上させ、異文化理解を深めたいという思いから、今回の留学を選びました。

留学先での学校では、英語のスキルを上達させるための様々な授業が用意されていました。授業の内容としては、単なる文法や、単語の学習だけではなく、実践的なコミュニケーション能力を養うことに重点を置いていました。例えば、ディスカッションやプレゼンテーション

の機会が多く、意見をしっかりと表現する力が鍛えられました。学校にいる生徒は、アジア、ヨーロッパ、南米など、さまざまな国から人が集まっており、多文化共生の重要性を感じたと共に、異なる文化的背景を持つ人々と交流することにより、自分の視野がとても広がったと感じました。

ブリスベンでの生活は、毎日新しい発見の連続でした。例えば、地元のスーパーマーケットで見かける商品はどれも、日本では見かけないものが多く、とても興味深いものでした。オーストラリアのフルーツや野菜は、日本とは異なる味がして、おもしろかったです。

観光地巡りも留学中の楽しみの一つでした。まず訪れたのは、ブリスベン中心部です。中心部は基盤目状に区画されてお

り、クイーンズストリート・モールという歩行者天国のショッピング街を中心に栄えていました。そのショッピング街の店の中には、オーストラリアの先住民アートに触れることができ、地域に対する理解が深まったと共に、多文化の重要性を感じました。

この十日間の留学を通じて、多くの成長と学びを得ることができたと思います。特に自信を持って、英語を日常の中でも使



える能力がついたと感じています。異なる文化的背景を持つ人々と積極的に交流することで、異文化理解の重要性や、多様性を尊重する姿勢が身につきました。また、海外での生活を通じて、自己管理能力や柔軟性も向上したと感じています。

この留学は、単なる言語の学習にとどまらず、私自身の価値観や視野を広げる貴重な機会となりました。このブリスベンでの経験を通じて、異文化の中で自分をどう位置づけるか、またそれをどのように活用していくのかについて深く考えることができました。将来国際的な環境で活躍するための基盤を築くための大きなステップになったとも考えています。

ブリスベンでの十日間の留学は、私にとって多くの学びと発見をもたらしました。フレンド

リーな地元の人々、美しい自然環境、そして実践的な英語学習の機会が、私の心に深く刻まれています。この留学を通じて得た経験や知識を今後の人生に生かし、さらなる成長に繋がっていきたく強く感じています。



一歩前進

南幌中学校2年 前田 七穂

英語を話せない私が、英語圏に行きました。

今回、私が応募した理由は「国民性や文化の違いを自分の目で実際に見て確かめてみたい。」という理由でした。“国民性”という言葉をインターネットや本でたびたび目にしますが、実際、そんなものがあるのだろうかという疑問に思い、日本から飛び立ちました。

まず一日目。新千歳から成田までの一時間のフライトでだいぶ疲れました。その後、特に問題もなくブリスベン行きの飛行

機にのりました。日本人CAさんは、日本語を話してくれませんでした。

二日目。飛行機のゆれで起き、残りの時間を見ると、あと三時間。(がんばって寝たのに)という思いで絶望しました。なんとかして時間をつぶし、空港に到着。いろいろ検査されるかと思いきや、あっさり入国。到着から入国までの流れが一瞬でした。外に出ると、語学学校の先生が手をふって待っていました。そこからバスに乗って語学学校に行きました。語

学学校の第一印象は「楽しそう」でした。

三日目。この日は午後から船にのって、街の中心の方に行きました。そこで、おみやげを買い、ジェラートを食べました。ジェラートの値段が少し高いと感じましたが、その分量も多かったです。うれしかったです。

四日目。公園に行きました。

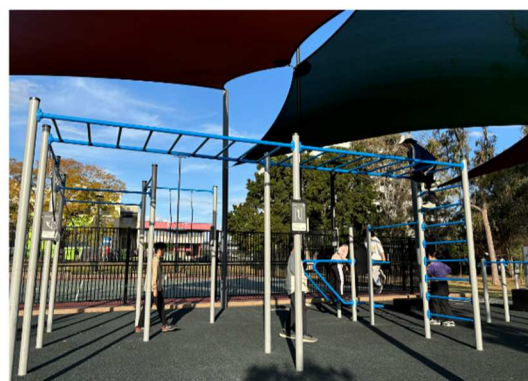
遊具は少ししかなく、それも全部筋トレのもの。すごく疲れました。そしてその晩ありえないくらいにお腹を壊しました。腹痛の薬は持って行った方がいいです。

五日目。まず動物をさわりました。特にフクロウがかわいかったです。その後、現地の学校に行って、一緒に授業を受けました。7割くらい何を言ってるかわからなかったけれど、みんな

なやましくてとてもたのしかったです。

六日目。語学学校で卒業式をしました。この四日間が嘘のように短く、嬉しさより寂しさ、悲しさの方が強かったです。その後食べたアンザッククッキーがとてもおいしかったです。お土産に買いました。

七日目。この日はゴールドコースト観光に行きました。まず最初に海に行きました。浜辺にもかかわらず、高いビルがたく



さん建っていました。すごくきれいだっただのに、地震の心配を真っ先にしてしまった自分が憎いです。それはさておき、マックではハンバーガーのサイズが選べたんですよ。すごいですね。次に街を歩きました。かわ

い店やおもちゃの自動販売機があり、わくわくが止まりませんでした。一番楽しかったのは、ビルドアベアという、ぬいぐるみを作る店に行ったことです。ピンクのくまにしました。名前は、ちょこです。友達がつけてくれました。

八日目。この日はホストファミリーと過ごしました。昼前から買い物につれて行ってもらい、お土産を買いました。お昼ごはんは、レストランに行き、肉と野菜がのっているもの（名前忘れちゃいました）を食べました。ナイフとフォーク

の使い方がわからなくて、あたふたしましたが、おいしかったです。夜になって、オーストラリアももう最後だと思うと悲しくなって号泣しました。

九日目。オーストラリア最終日です。朝早く家を出て、車でカップラーメンを食べました。ちょっと胸焼けしました。学校に集合してからバスに乗り、空港に行きました。バスの中でも号泣していました。夜に成田につき、近くのホテルにとまりました。

十日目。成田から新千歳に行き、バスで南幌に帰りました。この時点でオーストラリアが恋しかったです。

さて、冒頭に書いた国民性についてですが、オーストラリアにいた人たちみんな陽気でした。目が合うと笑ってくれたり、車に乗っていると手をふ

てくれたりしました。心が暖かいです。日本よりゆるーくて気が楽でした。ホストファミリーの人たちも、とても優しく、ずっとここに住みたいと思うほどでした。思い出すと涙が出ます。

今回、私は英語力、リスニング力、そして行動力がついたと思います。リスニングはテストや受験でも重要なので、この感覚を忘れないように英会話サークルに行くことにしました。本当に、この経験は私にとってとても大きな一歩になりました。心の底から、応募してよかったな、行ってよかったな、また行きたいな、と思います。今後、応募しようか悩んでいる人は、勇気を出して、ぜひ一歩踏み出してほしいと思います。

最後に、この事業にたずさわっていただいた全ての方に感謝

するとともに、参加にあまり前向きでなかった私に対し、「人生の価値観が変わるよ」と何度も説得し、背中を押してくれた母に感謝します。

本当にありがとうございます。



オーストラリア留学に行って

南幌中学校2年 畠山 華吏

私は夏休みに十日間のオーストラリア留学に行きました。これが人生初めての海外です。出発前には英会話のレッスンを受

け、パスポートやビザ取得の準備をしました。海外は怖い、英語じゃないと通じない。そして、ホストファミリーにお世話になる生活に、不安ばかりが頭の中をグルグルと巡っていました。

1日目は長時間の移動日でした。新千歳空港で、日本円をオーストラリアドルに両替をし、初めて見るお金に留学への期待

と不安が入り混じった気持ちになりました。機内では初めての機内食も食べたが、匂いも味も食べ慣れないものでした。

2日目は語学学校に行き、校内を見学しました。英語の実力テストは難しかったです。その後、アボリジニの話を聞き、色や模様のひとつひとつ意味があることを学びました。

3日目は午前の英会話レッスン後に、船に乗ってクイーンセントモールに行きました。川岸には高いビルが立ち並び、大きな鉄橋も見えました。川の水が

太陽の光を反射してとても綺麗でした。中心部には大きな古い時計台があり、大きな柱と装飾がとても存在感があり、何かの物語に迷い込んだ感じがしました。モールは色々なお店があり、ここで初めての買い物にも挑戦しました。緊張したがあんとか買い物でき、ほっとしました。

4日目は英会話レッスン後、野生動物について話を聞きました。午後からは学校近くの公園に行きました。そこには日除けのテントが張っており、日差しをさえぎる工夫がされていました。公園ではラグビーボールを投げてみたが、思った所に飛ばず難しかったです。

5日目の午前中は野生動物のクロコダイルやウエスタン、ブラウンスネーク、メンフクロウ、ポッサムの赤ちゃんに触っ



たり、間近で観察しました。午後からは、現地の学校を訪問し、生徒が校内を案内してくれました。校内は南幌中と違い、スペースがたくさんあり、広かったです。授業では「ストレスを緩和するためにどうしたら良いか？」をディスカッションしました。現地の生徒たちは、私に「どこからきたの？」など、質問してくれました。中には日本のマンガに詳しい子と盛り上

がったり、日本語を覚えたい子に発音を教えたりと、仲良くなることができました。

6日目は英会話レッスン最終日でした。レッスン後に卒業式をしました。お世話になったシェリー先生にお礼の色紙を渡し、挨拶をしました。それから、先生とお話しながら、現地のお菓子を食べました。日本のお菓子より甘みを強く感じました。

7日目はゴールドコーストに行きました。まず、きれいなブルーの海と砂のサラサラに感動しました。途中、みんなで同じサイズのポテトを買ったが、量がバラバラで日本との違いを感じました。

8日目はホストファミリーと過ごしました。歩いて近くのスーパーマーケットに行きました。イオンみたたく広く、なんで

も揃うお店でした。日本よりも高い棚の上の方で商品が並べられており、台に登って商品を取るのは大変でした。中には日本でもみかける商品もあり、見ているだけで楽しかったです。

9・10日目は帰国の日でした。滞在中は、ホストファミリーにお世話になりました。初めて会った日は英語が早く全く聞き取れず、不安な気持ちでいっぱいになりました。送迎時や食事の時間には色々とお話し、徐々に楽しむことができました。なので、お別れはとても寂しく、現地での日々は夢のようでした。また、帰国後に日本語の案内板を見たときは、日本に帰って来たと実感しました。そして、おにぎりや唐揚げを食べた時、日本の味が懐かしく感じました。

オーストラリアに行く前は、色々な不安があったが、行ってみると一日一日がとても充実しており、濃い10日間でした。今回留学したブリスベンは、都会だが自然豊かな場所で、冬でも昼間は暖かく、夜は肌寒いと感じました。雪の降る北海道の冬ではなく、秋のようだと感じました。また、オーストラリア固有種の動物に触れたり、アボリジニについても学びました。更に、食事はパン食が中心と考えていたが、夕食は白飯が多く、朝に麺やシリアルも食べました。中には苦手な味もあったが、美味しく食べることができました。知らない場所で生活する事に不安を抱きながら出発した留学だったが、初対面で緊張し、言葉が出ないのは、日本でも留学先でも変わらないと感じました。コミュニケーションは

言葉だけでなく、顔の表情や身振り手振りでなんとかすると実感しました。

私は今回の留学という機会を頂いたこと、出発前や滞在中にお世話になった皆さん、一緒に留学した仲間感謝の気持ちでいっぱいです。これから不安な気持ちや失敗を恐れず、色々なことに挑戦していきたいです。



異文化交流を通じた成長

南幌中学校3年 青山 滉

八月四日から八月十三日まで
の十日間、僕はオーストラリア
のブリスベンへ行きました。



この留学の目的は、現地の文化に触れ、英語力を向上させること、そして異文化理解を深めることでした。留学を通じて、僕はオーストラリアという新しい環境で多くのことを学び、様々な場面で成長することができました。

留学の初日、僕たちは新千歳空港から成田空港を経由し、長時間のフライトを経てブリスベンに到着しました。初めての海外に行くので、飛行機内での時

間は少し緊張していましたが、同時に新しい場所への期待感もありました。ブリスベン空港に到着すると、入国手続きを経

て、僕たちはシャフストンという語学学校へ向かいました。学校に着くと、施設の紹介を受け、その後英語の実力テストが行われました。テストは少し難しく感じましたが、これからの学びに向けた良いスタートとなりました。その日の午後にはホストファミリーが迎えに来てくれ、初めて対面しました。僕のホストファミリーはブラジル出身で、僕を家族の一員として温かく迎えてくれました。初めての夜は、ホストファミリーと夕食を共にし、彼らの日常生活や文化について話を聞きました。オーストラリアとブリスベンの家庭料理を味わいながら家族との会話を楽しむことができ、異

文化に触れる第一歩となりました。

二日目からは本格的にシャフストンでの授業が始まりました。クラスではリスニングやスピーキングを中心に学び、現地の先生たちが僕たちのレベルに合わせて教えてくれました。授業の合間には、他の国から来た留学生たちとも交流する機会があり、異なる文化背景を持つ人との関りが増えました。英語を使ったコミュニケーションは、は少し難しかったですが、日を追うごとに少しずつ慣れていきました。また、授業後にはブリスベン市内のツアーがあり、市内の美しい景色を楽しむことができました。ブリスベンの川をフェリーで渡ったり、地元の歴史や文化について学ぶことができ、異文化理解が深まりました。特に、市内の風景や人々の

ライフスタイルを実際に見ることで日本とは異なる文化の違いを実感しました。

さらに、授業の一環として行われた動物のプレゼンテーションでは、オーストラリアならではの動物たちに触れる機会がありました。赤ちゃんワニやトカゲの他に、ウェスタンブラウンスネークやグライダーというオーストラリア固有の動物たちと直接触れ合うことで自然と動物に対する理解が深まりました。日本では見る事ができない動物たちに触れた経験は、僕にとってとても貴重な物でした。

留学期間中、ブリスベンの現地の学校を訪問する機会もありました。現地の生徒たちが僕たちに学校を紹介してくれ、一緒に授業を受けました。現地の生徒たちはとても親切でたくさん話しかけてくれたので、すぐに

仲良くなることができました。日本の学校とは異なる教育環境や授業の進め方を知り、教育に対する新しい視点を得ることができました。

留学の終盤には、シャフストンでの修了セレモニーが行われました。修了証を受け取りました。また、その後には英語で「ファイティングニモ」の映画を観ました。映画を通じて英語のリスニング力が向上していることを実感し、自信が付きました。

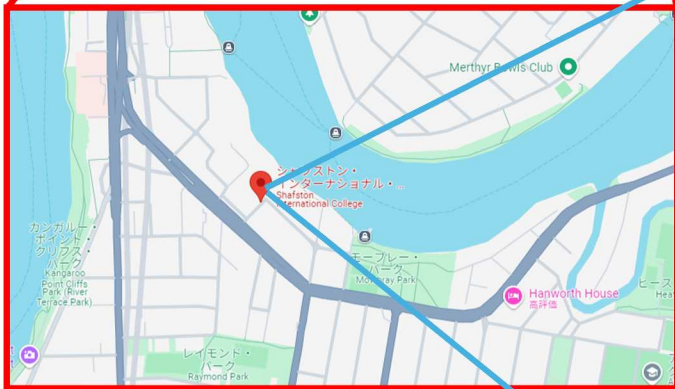
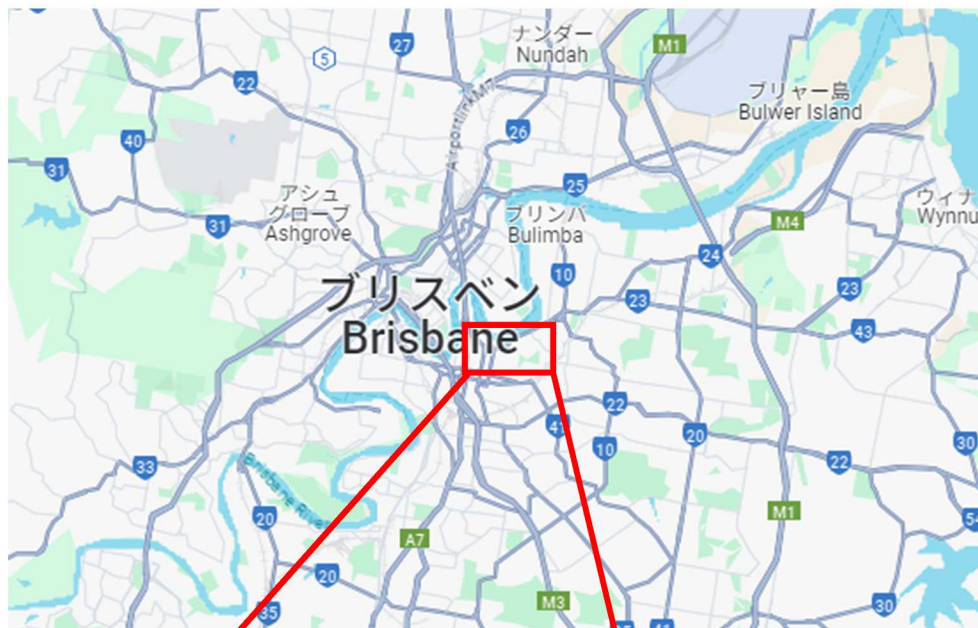
週末には、ゴールドコーストへ小旅行に行きました。日本から一緒に来た生徒たちと綺麗なビーチやお土産屋を散策し、楽しい時間を過ごしました。オーストラリアの自然の美しさを体験でき、この旅は僕にとって非常に良い思い出となりました。

最終日には、ホストファミリーとのフリーデイがあり、バーベキューやレストランでの食事を楽しみました。ホストファミリーとの別れは寂しさもありましたが、この十日間で経験したことは一生の宝物です。

日本に帰国してから、この留学を振り返ると、多くの学びと成長を実感しました。オーストラリアでの体験を通じて、英語力の向上だけでなく、柔軟な考え方や異文化に対する理解も大いに深まりました。異なる文化や価値観に触れることで、自分の視野が大きく広がり、国際的な感覚を身につけることができました。この貴重な経験を今後の人生にしっかりと活かし、さらに英語の勉強を続けて国際的な視点を持ちつづけたと思います。



地図



行程表（2024 年）

日次		都 市 名	現地時間	交通機関	ス ケ ジ ュ ー ル	食事
①	8月4日 (日)	新千歳空港発 成田空港着 成田空港発	15:40 17:15 20:50	GK112 JQ010	新千歳空港から成田空港へ (フライト時間：1時間35分) 出国手続きをして、成田空港からブリスベン空港へ (フライト時間8時間50分) 《機内泊》	朝：一 昼：一 夕：機
②	8月5日 (月)	ブリスベン空港着	6:40 16:00		ブリスベン空港到着後、入国手続き 荷物受け取り後、学校へ移動 ウェルカムオリエンテーション レベルテスト・キャンパスツアー アート&クラフトアクティビティ タ方ホストファミリーと対面し、各家庭へ 《ホームステイ》	朝：機 昼：○ 夕：○
③	8月6日 (火)	ブリスベン	終日		英語レッスン ブリスベン市内ツアー・クイーンズストリートモール見学 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
④	8月7日 (水)	ブリスベン	午前 午後		英語レッスン(3時間) 英語レッスン(15時まで)レイモンドパーク散策 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑤	8月8日 (木)	ブリスベン	午前 午後		英語レッスン(3時間) オーストラリアの野生動物プレゼンテーション、現地校訪問 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑥	8月9日 (金)	ブリスベン	午前 午後		英語レッスン(3時間) 修了セレモニー準備と修了セレモニー 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑦	8月10日 (土)	ゴールドコースト	終日		ゴールドコースト観光 (サーファーズパラダイス) 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑧	8月11日 (日)	ブリスベン	終日		ホストファミリーと過ごす 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑨	8月12日 (月)	ブリスベン ブリスベン空港発 成田空港着	早朝 9:30 17:40	JQ009	ホームステイチェックアウト、ミートポイント集合、空港へ ブリスベン空港から成田空港へ (フライト時間：9時間10分) 《成田泊》	朝：○ 昼：機 夕：機
⑩	8月13日 (火)	成田 成田空港発 新千歳空港着	8:30頃 11:00 12:50	GK109	ホテルから成田空港まで無料シャトルバスで移動 成田空港から新千歳空港へ (フライト時間：1時間50分)	朝：○ 昼：一 夕：一



育てる喜び、育む **幸**せ。 令和6年9月発行

南幌町

TOWN NANPORO

編集・発行 南幌町教育委員会 TEL:011-378-6620

〒069-0237 北海道空知郡南幌町栄町3丁目3番1号

中学生国際留学プログラム事業には南幌町を応援されている皆さんの寄附金が活用されています。